



平成 27 年度 身体障がい者を対象とした

三重県職員採用選考 受験案内

選考日 第1次選考 平成27年11月1日(日)
 第2次選考 平成27年11月22日(日)
 又は23日(祝・月)
 受付期間 平成27年9月4日(金)～10月5日(月)

三 重 県

平成27年9月

障害者の雇用の促進等に関する法律の趣旨に基づき、三重県内に居住する身体障がい者の雇用の促進を図るため、三重県職員採用選考を次のとおり行います。

1 職種、採用予定数及び職務内容

選考の種類	職種		採用予定数	職務内容
三重県職員 採用選考	一般行政分野	一般事務	約 3 名	知事部局、教育委員会、企業庁、病院事業庁等において、一般事務に従事します。 ※点字受験可
	警察事務		約 1 名	警察本部及び警察署において、一般事務に従事します。

- ※ 試験区分「一般事務」については、点字による受験が可能です。
- ※ 本受験案内は別途点字でも発行しています。希望される方は人事委員会事務局までお問い合わせください。

2 受 験 資 格

次のすべての要件を満たす人が受験できます。

- (1) 介護者なしに一般事務職としての職務の遂行が可能な人
(勤務時間は、原則として週 38 時間 45 分、1 日 7 時間 45 分です。)
 - (2) 身体障害者手帳の交付を受け、その障がいの程度が 1 級から 6 級までの人
 - (3) 昭和 56 年 4 月 2 日から平成 10 年 4 月 1 日までに生まれた人
 - (4) 県内に居住している人 (ただし、通学等のため一時県外に居住している人は受験可能)
 - (5) 活字印刷文による出題に対応できる人
(試験区分「一般事務」については、点字による出題に対応できる人も受験できます。)
 - (6) 地方公務員法第 16 条の欠格条項に該当しない人 (次のいずれにも該当しない人)
 - ① 成年被後見人又は被保佐人 (準禁治産者を含む。)
 - ② 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
 - ③ 三重県職員として懲戒免職処分を受け、その処分の日から 2 年を経過しない人
 - ④ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人
- ※ 日本の国籍を有しない人も受験できます。ただし、試験区分「警察事務」を受験するには日本の国籍が必要です。

3 選考の日時、会場及び合格者発表

	日 時	会 場	合 格 者 発 表
第 1 次 選考	<p>平成 27 年 11 月 1 日 (日) (時間割・予定)</p> <p>8:30 受付開始 9:00 日程説明 9:30 教養試験 (120 分) 11:30 昼食・休憩 12:30 作文試験 (60 分) 13:30 終了予定</p>	<p>三重県津庁舎 (津市桜橋 3 丁目 446-34)</p>	<p>平成 27 年 11 月 13 日(金) (予定)</p> <p>受験者全員に合否の結果を 書面で通知します。また、 インターネットでも合格者 受験番号を確認できます。</p>
第 2 次 選考	<p>平成 27 年 11 月 22 日(日) 又は 23 日 (祝・月)</p> <p>(詳細については、第 1 次選 考合格者に通知します。)</p>	<p>三重県津庁舎 (津市桜橋 3 丁目 446-34)</p>	<p>平成 27 年 12 月 2 日(水) (予定)</p> <p>第 2 次選考受験者全員に 合否の結果を書面で通知 します。また、インター ネットでも合格者受験番 号を確認できます。</p>

※ 点字による受験の場合は、会場内の別室で行います。

4 選考の方法

試験種目	配点	基準点	内 容	
第1次選考	教養試験	40	14	公務員として必要な一般的知識及び知能についての択一式による筆記試験を行います。 (40題 120分 ※点字の場合は180分)
	作文試験	20	4	一般的な課題に対する表現力等の能力についての記述式による筆記試験を行います。 (600字 60分 ※点字の場合は90分)
第2次選考	総合人物試験	60	※1	人柄、性格等についての個別面接及び適性検査を行います。

※1 5段階で評定し、上位4段階に評定されること。(評定結果に応じて、配点されます。)

(1) 試験問題について

①教養試験問題は高等学校卒業程度の難易度で出題します。

活字印刷の場合、文字の大きさは12ポイント程度の文字(受験案内の文字の大きさ程度)を使用します。

②教養試験の出題分野は、下表のとおりです。

出題分野	知識分野・・・社会科学、人文科学、自然科学 知能分野・・・文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈
------	---

③試験問題の形式や難易度を判断できる例示問題は、**参考(試験問題例等)**を参照してください。

④活字印刷文で受験される方のうち、希望者はルーペや拡大読書器などを使用できます。(各自で準備してください。)

⑤試験区分「一般事務」については、点字による受験を希望される方には、点字で出題します。(試験区分「警察事務」については、点字による受験はできません。)

なお、点字用紙は人事委員会で用意します。

(2) 得点及び合格者の決定方法について

第1次選考の合格者は、教養試験及び作文試験の合計得点順に決定し、最終合格者は、第1次選考及び第2次選考の合計得点順に採用予定者数を勘案して決定します。ただし、基準点に達しない試験種目が一つでもある場合は、他の試験種目の成績にかかわらず原則として不合格となります。(基準点については、おおむねの基準であり、採用予定者数確保のため、変更する場合があります。)

5 申 込 手 続

申込書 提出先	三重県人事委員会事務局 〒514 - 0004 津市栄町1丁目891（三重県勤労者福祉会館4階）	
申込方法	次のうち、いずれかの方法で申し込んでください。 ※インターネットの利用環境が整っている方は、できる限りインターネットをご利用ください。	
	【推奨】インターネット	郵送・持参
	下記のホームページより、申し込んでください。 ○三重県職員採用案内ホームページ http://www.pref.mie.lg.jp/saiyo *画面上の注意事項をよく確認のうえ、入力してください。 <u>「到達番号」が発行されますので、お手元に受験票が届くまで、この番号を必ず控えておいてください。申込状況の確認や問い合わせ等に必要となる場合があります。</u>	「申込書」に必要な事項を記入のうえ、提出してください。 ○郵送の場合…申込書を角型2号（33cm×24cm程度の大きさ）の封筒に入れ、封筒の表に三重県職員採用選考受験と朱書きし、必ず簡易書留郵便で送付してください。 ○持参の場合…下記受付期間中、土日祝日を除く各日午前8時30分から午後5時15分までに三重県人事委員会事務局に提出してください。
受付期間 及び時間	平成27年9月4日（金）～ 10月5日（月） （10月5日（月）正午までに県サーバーへ到着したものまでを有効とします。）	平成27年9月4日（金）～ 10月5日（月）（消印有効） 午前8時30分～午後5時15分（ただし、土・日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日は除きます。）
申込み 完了	受付済みの受験票が郵送にてお手元に到着することにより、申込みが完了となります。1週間程度経過しても受験票が到着しない場合は、三重県人事委員会事務局まで問い合わせてください。	
申込みに 係る共通 事項	申込みの際には写真は不要ですが、試験当日には、人事委員会事務局から送付された受験票に写真（6ヶ月以内に撮影したもの、脱帽正面上半身、縦4cm・横3cm）を貼って持参してください。	

- ◎ 受験資格の有無、申込書記載事項等の真否について確認を行います。
なお、記載事項に虚偽があると、職員として採用される資格を失う場合があります。
- ◎ 手話通訳の必要の有無、車椅子、ルーペ、拡大読書器、パソコン（※1・2参照）及び点字器の使用の有無等受験上の要望事項については申込書の所定欄に必ず記入してください。
- ◎ 申込書には、以下の事項を記載してください。（自筆が困難な場合は、代筆をお願いします。）
①氏名（フリガナ） ②性別 ③生年月日 ④現住所 ⑤試験結果送付先（現住所と同じ場合は記載不要） ⑥電話番号 ⑦Eメールアドレス（アドレスをお持ちの方のみ） ⑧受験票送付先（現住所か試験結果送付先かを選択） ⑨最終学歴（学校名、学部名、学科名、期間、卒業・卒業見込み等の区分） ⑩身体障害者手帳記載事項 ⑪受験上の要望事項

※申込書の様式に従って、各項目について記入してください。

※後日、受験票が手元に郵送されてきましたら、写真（申込み前6か月以内に帽子をつけないで正面上半身を撮影した縦4cm、横3cmのもので、本人と確認できる写真。裏面に氏名記入必要。）を受験票に貼付し試験当日持参してください。

※受験票と一緒に提出書類のお知らせを郵送します。提出書類は、第1次選考日に持参してください。

※1 パソコン使用について

パソコン使用は、作文試験のみ希望者に対して許可します。ただし、使用できるOSはWindowsのみ、ワープロソフトはWordまたは一太郎のみとします。希望者は、申込書の「**その他要望事項**」欄に①ワープロソフトの種類とそのバージョン、②USB2.0接続フラッシュメモリが使用可能か、不可能であれば使用できる記憶媒体を必ず記入してください。

※2 パソコンを使用する際の注意事項

- (1) 作文は、人事委員会事務局が用意する記憶媒体（USBフラッシュメモリ等）にある様式を用いて作成します。試験中は作文画面のみを開き、それ以外の画面への移動があった場合は、その時点で失格とします。
- (2) 作文は人事委員会が用意する記憶媒体に保存し、提出します。
- (3) 持ち込むパソコンに、試験に使用するための資料等を保存することは禁止します。
- (4) 試験中、パソコンがフリーズするなど、何らかの支障があった場合でも、試験時間延長等の特別の措置は行いません。

6 任 用

(1) 採用は平成28年4月1日の予定です。

(2) 日本の国籍を有しない人の任用に当たっては、「公権力の行使又は公の意思の形成への参画に携わる職務を行うためには、日本国籍が必要である」という公務員の基本原則に沿った任用が行われます。（「公権力の行使又は公の意思の形成への参画」に該当する業務例等については、**下表**を参考にしてください。）

公権力の行使に該当する業務例	公の意思の形成への参画に該当する職
<ul style="list-style-type: none">・ 公益法人の設立許可、立入検査・ 税の賦課、徴収、滞納処分・ 学校法人の設立認可、解散命令・ 食品営業施設の営業停止命令・ 児童福祉施設等への入所措置・ 一般廃棄物処理施設への立入検査・ 農地の転用許可・ 貸金業者への業務停止命令・ 火薬類の製造許可・ 建設業の許可・ 屋外広告物の改善等措置命令・ 補助金等の交付決定	部長級、次長級、課長級等の職のうち、県行政について企画、立案及び決定に参画する職

7 給与、勤務時間及び休暇

- (1) この選考に合格し、採用された場合には、「職員の給与に関する条例」等の規定による給料及び扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等の諸手当が支給されます。平成27年4月に採用された職員の初任給は、おおむね次のとおりです。

大 学 卒 業 者	181,200 円
短 期 大 学 卒 業 者	164,000 円
高 等 学 校 卒 業 者	152,300 円

- (2) 勤務時間は、8時30分から17時15分までの7時間45分（月曜日～金曜日）です。ただし、職場によっては、異なる場合があります。
- (3) 年次有給休暇は、1年につき20日（採用年は、4月1日の採用の場合15日）あり、このほか特別休暇等があります。

8 試験成績の提供

第1次選考の結果通知と同時に、受験者本人の教養試験及び作文試験の得点、順位を記載した試験成績を郵送します。ただし、第1次選考の合格者には第2次選考の結果通知と同時に、試験種目ごとの得点、総合得点及び総合順位等の試験成績を郵送します。

なお、第1次選考の合格者のうち、希望者には第1次選考の試験成績を提供します。希望される方は人事委員会事務局までお問い合わせください。

◎受験上の注意事項

- (1) 携帯電話等は試験会場に入る前に必ず電源を切ってください。
- (2) 試験当日の服装は特に指定しておりませんので、すごしやすい服装でお越してください。
- (3) 災害等で試験が実施できない場合などの緊急のお知らせは、三重県職員採用案内ホームページ (<http://www.pref.mie.lg.jp/saiyo>) に掲載します。

◎第1次選考日に持参する書類

申込受付終了後、次の書類を郵送（持参の場合はその場で配付）しますので、所定の事項を確認のうえ、第1次選考日に持参してください。

- (1) **受験票** 写真を貼ってください。
- (2) **住民票記載事項証明書** 住民票のある市区町村で証明を受けてください。
- (3) **面接カード** 自筆で記入してください。
※第2次選考の人物試験における質問の参考資料とするものですが、日程の都合上、第1次選考日に提出してください。
※点字による受験を希望する方は、代筆による提出が可能です。

なお、上記書類のほか、**身体障害者手帳**、**筆記用具**（HBの鉛筆数本、黒のボールペン、消しゴム等）、**時計**及び**昼食**を持参してください。また、車椅子、ルーペ、パソコン、点字器及び拡大読書器等を使用される方は各自で準備してください。

◎参考（試験問題例等）

○教養試験（試験問題例）

(1) 日本の地方財政に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つあるが、それらはどれか。

- ア. 地方が必要としている財源のうち、地方税など地方公共団体が自主的に調達できる財源は地方全体で見ると3, 4割程度にすぎない。
- イ. 地方交付税は、国から全ての地方公共団体に交付されるもので、義務教育や道路・河川の整備など、国が用途を指定して交付する。
- ウ. 国庫支出金は、国が地方公共団体の財政力の格差を是正するために交付するもので、用途は地方公共団体が自主的に決定できる。
- エ. 2000年代には地方分権を目指し、地方交付税の見直し、国庫支出金の削減、国から地方への税源移譲を柱とする三位一体の改革が進められた。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. ア, エ
- 4. イ, ウ
- 5. イ, エ

(正答 3)

(2) 江戸時代の幕政改革に関する次の記述のうち正しいのはどれか。

- 1. 新井白石は、家康時代への復古を掲げて文治政治を武断政治へと改め、厳しい儉約令を出す一方、海舶互市新例を発して銅や俵物の輸出を奨励した。
- 2. 徳川吉宗は、参勤交代の負担を軽減する代わりに諸大名に上げ米を命じるなど財政再建に努め、また目安箱を設置したり町火消を組織させるなどの都市政策を行った。
- 3. 田沼意次は、問屋商人の株仲間を解散させて自由な取引による経済の活性化を図り、また諸藩に囲米を命じて農村に米穀を蓄えさせ、飢饉に備えた。
- 4. 松平定信は、農民の出稼ぎを制限するなどして農村の復興を目指した。また武士には学問を奨励し、朱子学に加えて陽明学など儒学の他の学派も官学として認め、その普及を図った。
- 5. 水野忠邦は、積極的に商人の力を利用し、商人の資本による新田開発や蝦夷地の調査を行った。一方、諸外国の脅威に対しては異国船打払令を出して外国船の撃退を命じた。

(正答 2)

(3) A～Dの4人がゲームをした。ゲームは個人戦で、総当たりになるように3ラウンドを行う。各ラウンドは1対1の対戦が2組である。次のことが分かっているとき、正しく言えるのはどれか。

- ・ Aの第1ラウンドの対戦相手は、第3ラウンドではCと対戦した。
- ・ Cの第2ラウンドの対戦相手は、第3ラウンドではDと対戦していない。

- 1. AとBは第1ラウンドで対戦した。
- 2. AとDは第3ラウンドで対戦した。
- 3. BとCは第2ラウンドで対戦した。
- 4. BとDは第1ラウンドで対戦した。
- 5. CとDは第3ラウンドで対戦した。

(正答 5)

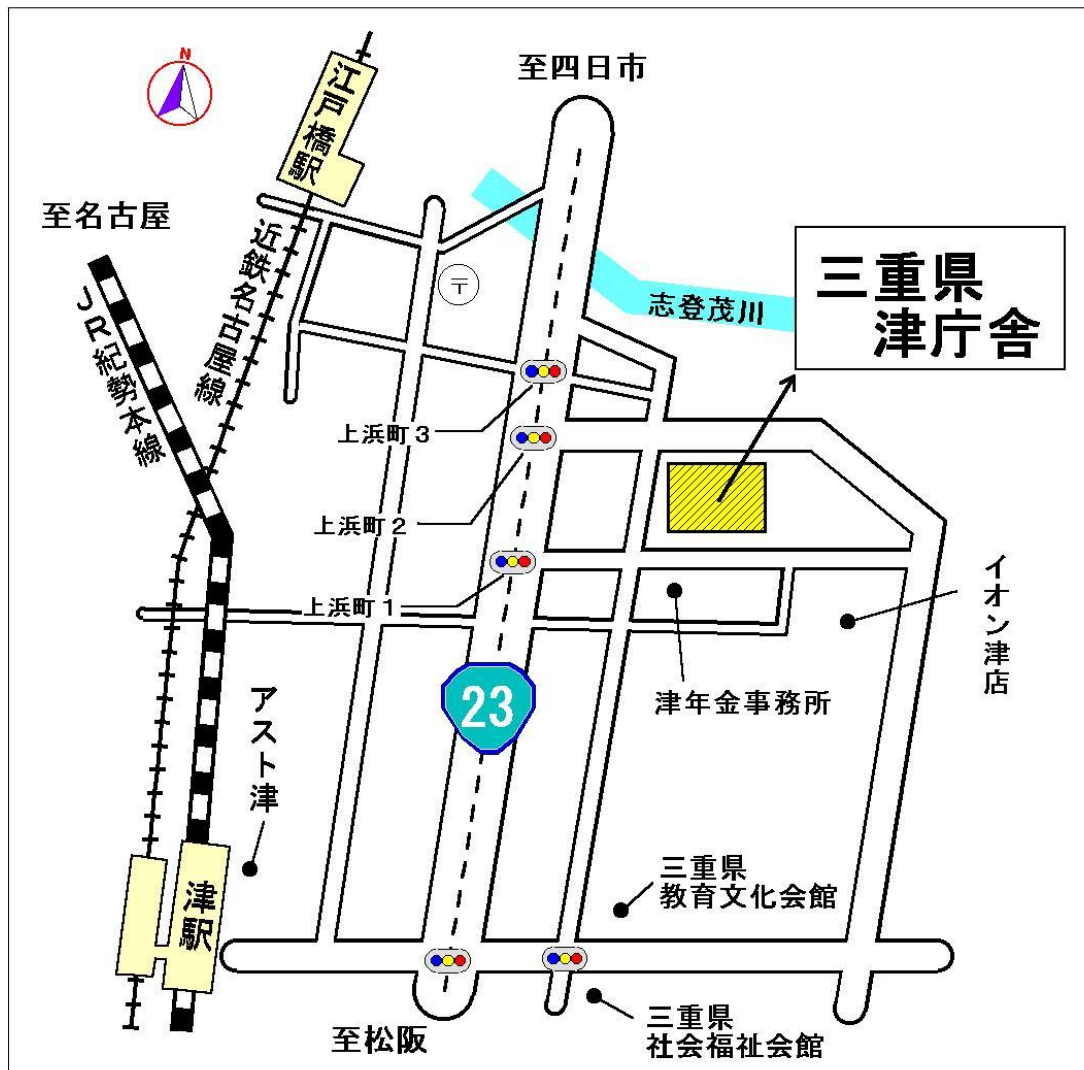
○作文試験課題（平成 26 年度課題）

「あなたが三重県職員として取り組みたいと思っていること」（600 字）

◎試験会場案内図

三重県庁舎（津市桜橋3丁目446-34）

（JR・近鉄「津駅」下車徒歩約13分、又は近鉄「江戸橋駅」下車 徒歩約10分）



◎この試験に関する問い合わせ先

○三重県人事委員会事務局

〒514-0004 津市栄町1丁目891 三重県勤労者福祉会館4階 TEL 059-224-2932
三重県職員採用案内ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/saiyo>

○三重県総務部人事課

〒514-8570 津市広明町13 TEL 059-224-2103

○三重県警察本部警務部警務課採用係

〒514-8514 津市栄町1丁目100 TEL 059-222-0110 (内線2644)
三重県警察ホームページ <http://www.police.pref.mie.jp/>